

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Hi-Nique !			
○保護者評価実施期間	2025年 3月22 日 ～ 2025年3月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数)	13
○従業者評価実施期間	2025年 3月 22日 ～ 2025年3月31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 6月 20日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	「調理をしたい」「おやつを作りたい」「オイルパステルをやりたい」「工作好き」と子ども自身が「～をやりたい」と目的を持ち活動に参加している。	土曜日や長期休暇では講師を招き、プロから教わる機会を設けている。	日々の取り組みで頑張っている様子をご家族や地域の方に見ていただける機会を検討する。
2	子ども一人一人を尊重し、丁寧な支援を心がけ実施している。	外部で公認心理士によるSV研修を毎週実施し、事例検討や支援時での困り感を相談、関わり方について振り返りを行っている。 成功体験が積み重ねられるように、小さな進歩を見逃さずその場で「いいね」と評価を伝えるように心がけ支援する。	職員間でも良いと思えた関わりを認め合える環境を作り職員の質の向上に努める。
3	自立を見据えた取り組みとして、放課後等デイサービスの範囲ではクリアできない、個別の社会経験の機会として「移動支援」サービスの周知、提案と実施。	ご家族以外でも行きたいところで楽しく過ごせる経験の大切さを面談時等で保護者へ説明「ここら」を紹介。慣れない人との支援に不安がある方についてはHi-Nique ! 職員との実施も可能としている。	小学生は家族以外の人と楽しみを持って外出する事や中高校生は自立に向けて「できる事で生活しやすくなること」は何かを保護者、ご本人と共有し、外出先での楽しみ方や公共交通機関の使い方、買い物の仕方等それぞれのニーズに合わせて検討する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	車椅子の方の受け入れが難しい。	スロープの設置や廊下の幅、トイレの段差は建物の構造上改善が難しい。	車椅子の方でご利用希望の方にはその旨をお伝えし、実際事業所に足を運んで見ていただき判断いただくように取り組んでいる。ご利用の意思がある方についてはどうしたらご利用いただけるかを職員、保護者と協議する。
2	職員間の情報共有の難しさ。	職員間での情報共有や伝え方、報告の仕方、タイミング等が確立されていないことで齟齬が生じやすい。	定期的なミーティングや終礼に加え、出勤の頻度に関わらず情報を共有したり、日々の職員の困り感を言いやすい環境を整える。
3	保護者会の開催が出来なかった。	作品展に向けて準備を進めたため、定期的に保護者に集まっていたことができなかった。	保護者会、研修やイベントなどできるだけ多くの保護者やご家族との交流の場を設けられるよう計画を立てる。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 Hi-Nique!

公表日 2025/3/31 (回収最終日)

利用児童数

22

回収数

13

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7	5	1			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	12	1				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6	6	1			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6	7			・利用する曜日、お子さん立お人数によると思います。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	1				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13				・大変丁寧にヒアリングと計画をしてくださっています。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	2				
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	6	4			
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13				・丁寧に説明していただき、わかりやすいです。	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	6	4			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	11	2			・モニタリングでお話は丁寧にいただけているので、共通理解はできていると思っているのですが、回数が少ないので、日々の送迎時には他のお子様の待ち時間が長くなるため難しいと思うのですが、他のデイサービスさんと比べて子どもの様子がわかりづらいのが残念です。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	1			・計画書の作成時以外、なかなかお話しが機会が無い。 ・面談時に、適切なアドバイス等をいただきありがたいです。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11	2				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	6	4		・特に希望しない。 ・あまり交流の機会が少ないような気がします。	

	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	2				
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11	2				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10	2	1		以前は通信があったような？	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	5	1			
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	4	2			
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7	5	1			
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	2				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13					
	29	事業所の支援に満足していますか。	11	2			子供への敬意を十分に感じるので大変、満足しています。長くお付き合いしたいです。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		Hi-Nique!					公表日	2025 年 6 月 20 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	☐					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	☐					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	☐		段差のある玄関には踏み台を設置、身長に応じて、トイレ、活動室でも踏み台を使用しています。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	☐					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	☐					
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	☐					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	☐					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	☐					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		☐				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	☐					
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	☐					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	☐					
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	☐					
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	☐					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	☐		フェイスシートに記入いただいております。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	☐					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	☐					
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	☐					

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		相談員を通じて、情報共有に努めています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	コロナ感染状況をみながら、地域のこども達との交流の機会を設けたいです。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		○	コロナ禍で保護者会を行うことができませんでしたが、感染状況を見ながら、開催方法を検討していきます。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		2025年10月19日（土）に作品展を開催 地域の方や地元の高校生にもご利用者さまの作品を見ていただく機会を得られました。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		契約時、面談時において周知の機会を設けます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			